

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : “ PHYSIX TOUR ”

COLOR : ORCHID/AQUA/MIDNIGHT

COVER STOCK : NEX™ HYBRID REACTIVE

RG : 2.48(Low-MED/15P) \angle RG : 0.053 (MID/15P)

FACTORYFINISH : 1500GritPOLISH

TRACKFLAREPOTENTIAL : 5+(HIGH)

BACK END:18.0(1-20)MAX LENGTH:16(1-20)

●	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM OIL 編】

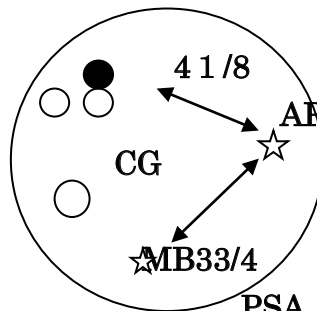


2023 年 4 月 4 日

レイアウト例

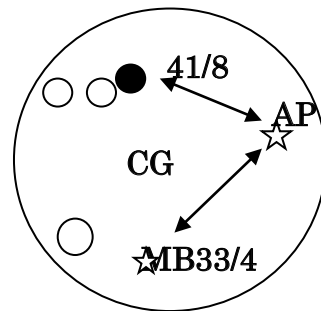
PHYSIX TOUR

INFINITE PHYSIX



PSA 2

PSA 2

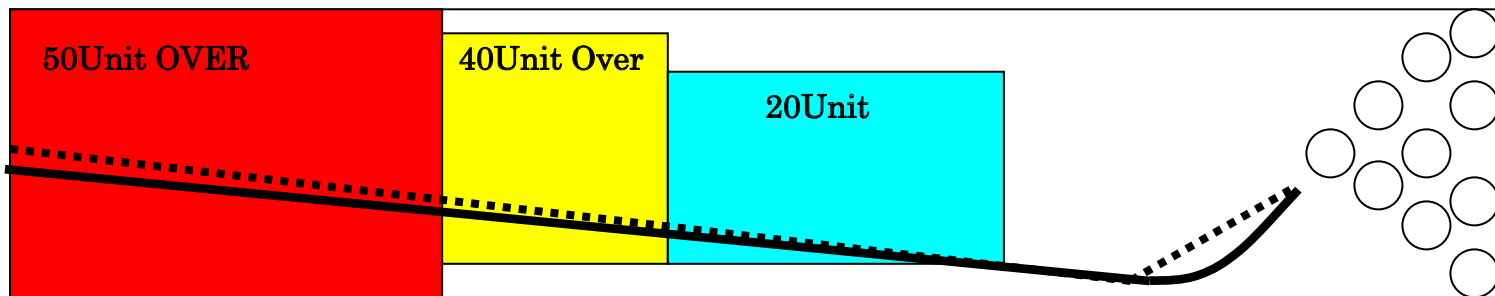


CA55 度

CA55 度

フアー幅 最大 6 1/4・間隔 1/8

最大 6 1/2・間隔 1/8



0F

15F

27F

38F

45F

比較品ライン

PHYSIX TOUR

INFINITE PHYSIX

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ	ATMIC CORE
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強	1	2	3	4	5			
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○							

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

PHYSIX と言えば、重量コア搭載の世界で唯一の一体成型ですが、表面素材により曲がる位置や曲がり方に変化を出すもののピンをなぎ倒す反発係数は最も強い数値が出ます。今回の NEX ではシリーズの中でもインフィニットに近い印象で適度な摩擦とアーク状の曲がりが出ます。

【ここがポイント】



動きにメリハリがある製品は投げていてレーンコンディション変化が敏感な分面白さとアジャスト技術を必要としますが、近年表面加工でもあったように(4KFINISH)変化が邪魔になる事も多くなっています。それだけレーン事情の進化がありオイルのある部分と無い部分の差が大きくなっているのです、『鈍感』と言うイメージ的にはあまり良い表現ではないですが、これがスコアメイクに繋がる秘訣でもあるのです。バックエンドの曲がり不足な場合や回転維持が無い場合はピン飛びが鈍くなりますが、このフィジックスシリーズだけはピンが飛ぶのでそれを一度でも体感したボウラーは魅了します。ボウリングはミスが付き物のスポーツです。このミスをした時に助けてくれるのはフィジックスです！

発売予定：2023 年 月中旬

テスト協力センター：アイビーボウル向島

販売価格 ￥56,000 円

テスター 石原 章夫プロ【HIGH SPORTS 専属契約プロ】